

もくじ

- きんたろう
金太郎

きんたろう
金太郎

げんさく 原作： にほん むかしばなし 日本の昔話

イラスト： イシイ アケミ

へんしゅう 編集： YellowBirdProject

むかしむかし、^{あしがらやま}足柄山の^{おく}そのまた奥に、^{きんたろう}金太郎
という^{なまえ}名前の^{おとこ}男の^こ子が、^{ははおや}母親と^{ふたり}二人で^く暮らして
いました。

^{きんたろう}金太郎は^う生まれた^{とき}時から、^{あか}ほっぺたが赤くて、
とても^{たいかく}体格の^{おとこ}いい男の^こ子でした。

おまけに^{あさひるばん}朝昼晩と、^{はん}ご飯を^{やまも}山盛りで^た食べていたの
で、ぐんぐんと^{おお}大きくなりました。



5

^{きんたろう} 金太郎は、^{まいにちもり} 毎日森に入って、^{はい} ^{どうぶつ} 動物たちと^{いっしょ} 一緒に
^{あそ} 遊んでいました。ウサギやサルたちと、かけっこを
したり、^{つなひ} 綱引きをしたり。

その中^{なか}でも特^{とく}に楽し^{たの}しかったのが『すもう』でした。

シカやウマ、イノシシなど、^{じぶん} 自分よりもずっと
^{からだ} 体の大き^{おお}な動物^{どうぶつ}たちを相手^{あいて}にしても、^{きんたろう} 金太郎は負^まけ
ませんでした。

そして^{きんたろう} 金太郎は、いつの間^まにかこの森^{もり}の動物^{どうぶつ}たち
の、^{たいしょう} 大将^{たいしょう} になっていました。

